

# 地域の宝を育む 飯南町の教育魅力化

## 第1章 教育魅力化への想い ～飯南町教育長と 飯南高等学校校長が語る～

飯南町では、令和3年3月に飯南町教育大綱を改定し「ふるさと飯南の学びを原点に、一人一人が輝く人づくり」を基本理念とした教育魅力化に取り組んでいます。保小中高一貫教育もそのひとつ。今月は、「地域の宝」である子どもたちを育む飯南町の教育魅力化を特集します。

### 教育長の想い

小さな町だからこそできる  
きめ細かな教育

飯南町には、小さな町だからこそできる教育があり、その一つが、きめ細かな学習指導です。

「学習支援館」での学習指導は、児童生徒の学力向上に貢献し、中高一貫教育では、関係する教員同士で綿密な授業力リキヨラムを立て、教育現場で一貫した授業を行っています。

また、飯南高校の「習熟度別授業」は、「基礎学力の向上」につながっていて、飯南高校の魅力だ」と生徒が話してくれています。

これらは、都市部の大規模校では真似できないことであり、飯南町の強みです。

キャリアパスポートを活用した  
切れ目のない教育

きめ細かな教育をさらに進化させるため、令和2年度から「キャリアパスポート」を活用した教育を始めました。

保育所、学校、家庭、地域が協働し、7つの資質・能力「主体性」「課題発見力」「計画力」「創

造力」「巻き込む力」「実行力」「発信力」を育みます。保小中高はもちろん、町ぐるみで子どもたちの学びを応援していきます。

切れ目のない教育の実現に向けて、定期的に保育所長、小中学校と飯南高校の校長などの関係者が集まり、キャリアパスポートの検証や意見交換を行っています。

「このまちで学んでよかった」と  
思える教育環境に

私自身、飯南町で生まれ、地元の小中学校から飯南高校を卒業し、大学卒業後に再びふるさと飯南町に帰って来る事ができました。「このまちで育てていただいた一人」だと感謝しています。

私が教育長として実現すべきことは、飯南町の子どもたちが「このまちで学んでよかった」「このまちで活躍したい」と思えるような教育環境を整えることです。

これは決して、「飯南町を離れないでほしい」ということではありません。人生の選択で、ふるさとから離れて生活している方もたくさんいらっしゃいます。離れていても、ふるさと飯

南町を想う「郷土愛」を育んでいければと考えています。

これからは、ICT教育などの新たな強みを生かしつつ、これまで積み重ねて来た飯南町の教育に磨きをかけ、関係の皆さんと共に、飯南町の教育の魅力を高めていきます。

### 学校長の想い

多様性に触れ、「自分らしさ」に  
気付ける高校

飯南高校には、東京や大阪をはじめ、全国のさまざまな地域から生徒が集まっており、全校生徒の約3分の2を町外出身の生徒が占めています。

これは町外出身の生徒にとっても、町内出身の生徒にとっても大きなメリットです。町内出身の生徒のほとんどが、これまでに少人数の中、お互いがある程度知っている状態で過してきてはらずです。

しかし、県外、県内の「町外から来た生徒」と接する中で、「飯南町の当たり前が、当たり前じゃないこと」に気付けたり、「自分」という存在に改めて向き合えたりします。

県内の大規模校には多くの生

徒がいますが、学校がある地域の出身者が大半を占めているのも事実です。飯南高校には、さまざまな背景を持った生徒に多様性に触れる機会が豊富にあります。

このような環境は、生徒が「自分らしさ」に気付く、磨きをかけようという試行錯誤するきっかけとなります。それが「成長」につながるのだと思います。

「生命地域学」を中心に、  
授業の魅力化を図る

生徒が成長する過程で、私たち教職員スタッフができることは限られています。しかし、飯南高校だからこそできる経験を積ませてあげられると確信しています。

これまでも「生命地域学」を中心に、地域資源を活用したさまざまな体験学習や課題解決型学習に取り組んできました。飯南町のヒト・モノ・コトに触れ、答えのない課題に立ち向かうことで、1つ目の教育目標「自らの人生を主体的に切り拓いていく力」を育みます。

「生命地域学」は、地域資源に飯南町らしさを見つけるたびに進化します。これからも、生徒が目を見守る瞬間をつく

るため、教職員一丸となって授業の魅力化に取り組んでいきます。

地域が育んだ  
「飯南高校らしさ」を守り、高める

私は今年4月に飯南高校に来ました。学校の坂を上る際に感動したことがあります。私とすれ違う生徒全員が、立ち止まって、向き直り、腰を折っておじぎをするのです。このような高校に来たことがなかったのが本当に驚きました。そして、「あいさつする」ということを自然と受け入れられる人間性が、保育所、小学校、中学校の教育の他に、家庭や地域で育まれているのだと感じました。

きちんとしたとあいさつができることは大きな力です。社会に出た時、他者とのコミュニケーションが始まるきっかけになります。

「活力ある地域・社会づくりに貢献できる人材」を育むこと。それが、2つ目の教育目標です。これからも、守っていくべきこと、変わっていくべきことを見極めつつ、10～20年先を見据えながら、地域から愛されている飯南高校の魅力をさらに高めていきます。

●飯南高等学校校長  
青山 顕紹

●飯南町教育長  
大谷 哲也

